

するとしても、實行上の態度としては、其の新方法を如何に活用すべきかの謙遜なる慎重なる態度を要すべきことである。余もまた、モンテッソリ教育法の紹介者の一人として次のことを明かに附言して置かなければならない。

(一)モンテッソリ女史の主張する兒童自發性の尊重と、其の教育上の可能とに就いては、萬腔の同意を表す。

子供と胃腸病

成人の胃腸病は、さ程重大な病氣ではありませんけれども、子供にあつては決して輕視することの出来ない病症であります。年々この爲めに命を失ふ子供も尠くはないのです。子供と申しても年齢の少ない程これに罹り易く、且つ危険の度が多

(二)然し茲にいふ兒童自發性の發揮といふことと由來誤解を伴ひ易き教育上の所謂放任主義とは暫く區別し置くを要す。

(三)即ちモンテッソリ女史の精神を離れざる其の方法の適用に就いては、素より推奨者の一人なり。而も其の「人」に非ずして單に方法のみを用ふる者の陥り易き危険に就いては、お互自分の十分なる警戒を約束せざる能はず。

醫學士 石塚保吉

いのであります。子供にも哺乳兒、即ちお乳ばかりをたべて居る時代と、稍大きくなつて普通の食物をとつて居る所謂兒童との二ツの時期を分けることが出来ます。そして哺乳兒の時代が一番で胃腸病に胃され易く、又それに伴つていろ／＼六

ケしい病氣が出て來るのであります。故に先づ哺乳兒の御話し度いと思ひます。

哺乳兒の消化不良

單に哺乳兒と云ひましても、其の中に二つの區別があります。一は母の乳を以つて育てられる子供と、人工營養、即ち牛乳其の他のもので育てる子供とがあります。母の乳で育てらるゝ子供は割合に胃腸病が少くあつて極く輕いのです。これに反して人工營養兒は最も此の病氣に罹り易いのであります。何故さうかと申しますと、胃腸病の原因の主なるものは、お乳が黴菌の爲めに穢れて居るか否かによるもので、母の乳には比較的に穢れることが少いのであります。これに反して人工營養でありますと幾ら注意してもいろいろ原因の爲めに穢れることが多いのです。其の外、牛乳それ自身が母乳に比して消化がわるく又腐り易いのみならず其濃め分量などが適當でない

とかいふやうなことで、消化不良を起し易いのであります。故にそれを防ぐ爲めには器物を清潔にしたり、乳そのものに十分注意をするといふやうなことは勿論、其の外子供の年齢に應じて乳の分量を適當にし、時間を正確に定めて與へるといふやうなことも嚴重に守らなければなりません。乳の分量といふことは、其の子供の年齢なり體質なり營養状態なりに關係する處が多いのですから一様には定められませぬ。其の子供によつてそれ〳〵小兒科の醫師に相談なさる方がよいのです。母の乳を呑む子供には胃腸病は起らないかと申すと、決してさうではありません。お乳を食べ過ぎたり、不規則に哺乳したりすれば矢張り胃腸を傷めるのは勿論で、又、母親が病氣其の他の原因の爲めに乳に變化を來すといふやうなことも消化不良を起す原因になるのですから、これ等は充分に注意する必要があります。時間の定りは母の乳

ですれば、大約二時間半、牛乳なれば三時間の経過を置くことが大切であります。これ等は皆豫防上の注意でありませんが、次に此の病氣に罹つた時の手當を一通り申上げて置きます。

胃腸病の手當

胃腸を悪くした子供は、初め機嫌が幾らか悪くなり、よく眠り得た子供でも安眠が出来なくなり、眠つても直ぐに目を覺まし、時とするとお腹が痛むやうに泣くこともありませす。胃の方が悪いと吐き、腸が悪いと大便に變化が起ります。普通赤兒の大便是恰度黄色い色をした膏藥のやうなのが日に一二回位、時を定めて出るのが常態であります。これが變つて青味を帯びて來たり、便の中に菜種のやうな不消化物が紛つたり、回数が多くなつたり、又少しく激くなると發熱をしたりすれば、もう消化不良を起した徴候でありますから、取り敢ず醫者に相談せなければなりません。前に

もお話したやうに消化不良といふものは、やさしい病氣のやうで、其の實ゆだんの出來ない病氣で、幼い子供などは殊に大切であります。この爲めに命を失ふ幼兒も可なり多いのであります。これを早く手當をすれば治りも早く、危険も少ないのですから、胃腸だからと云つて、高をくゝつて輕視して置くといふやうなことの無いやうにせなければなりません。

此の病氣の手當として、昔の醫者は初めから收斂劑を與へて下りを留めたものですが、此頃はこれと丸で反對に、お腹の下るときは寧ろ下劑を與へて、さういふ病原菌を外へ排出させてしまつて、それから收斂劑を與へるといふやうになつて居るのですから、醫者がさういふ手當を施した場合には、決してこれを拒まれてはなりません。人によつてはお腹の下る處へ下劑をかければ、一層悪くなりませないかと云ふ懸念を抱いて、此の手

當を嫌がる人がありますけれども、それは大變な誤りでさうしなければ早く治らないし、また、さうせなければならぬのであります。其の外、かういふ病氣の場合には母の乳を止めるやうなこともありません。お乳を食べてゐる間は子供の病氣が治りませんから、さうするのであります。これも人によつて非常に厭がられますけれども、消化不良が重くなつたり、殊にこれから夏になりますと、是非この手當を實行せなければ全快せないので、から、醫者の言を用ゐられることが必要であります。

これ等は極く普通の消化不良症ですが、これをもう少し擲つて置きますと、いろ／＼重い腸の病が起つて來ます。例へば腹加多留、小兒虎列瀝、泡性腸炎等がそれで、かういふ病症になりますと手當もなか／＼困難で、且つ容易に治り悪くなるのですから、重くならない中に十分注意されるこ

とが極めて大切であります。殊にこれから夏向きになりますと、腹加多留が非常に多く、病症も重く経過も早くなつて、結り危険の度が激しくなつて來ますから、餘程早く手當をするやうにせなければなりません。

兒童期の胃腸病

以上は嘔腹兒に就いての病氣であります。もつと大きい兒童になりますと、いろ／＼な病氣が出て來ます。一般に言ひますと、兒童は哺乳兒に比して輕症なのですが、たゞ此の中疫痢は最も恐るべき病であります。其の徴候及び手當の一般をお話させよう。

疫痢

疫痢は非常に激烈に來る腸加多留の一種であります。大きいには二三歳から十歳位までの、割合大きい營養のいゝやうな子供に起るもので、突然に非常な高い熱を發して、痙攣を起します。其の時

分は便には異状を認めませんけれども、下劑を投じて見ると初めて非常な不消化物を排出し、それに續いて大變に厭な臭のする粘液便を出します。これは非常に経過の早い病氣で、痙痢の徴候があれば直ぐに醫者を招んで應急の手當をせないと、一晝夜の間には心臟麻痺を起して命を失つてしまうのです。この場合の應急の手當としては一方には下劑を投じ又一方には腸洗滌を行つて出来るだけ早く毒物を排出することでありませす。故に醫者が腸洗滌を行ふ場合には、それを拒んではなりません。兒童期の疾病ではありませすが序に小兒虎列刺の御話を致しませつ。

小兒虎列刺は、成人の虎列刺と徴候が似て居ます爲め、さういふ名があるのです。然し眞正の虎列刺ではありませせん。この病に罹ると盛んに吐き下しをして、少し物を食べると直ぐに吐き、酷くなるかと食へなくとも吐くやうになります。この場

合には暫く絶食療法をとるより外はないのです。吐き下しをする爲めに體の水分を排出してしまひますから、これを補ふ爲めに食鹽注射を行ふて、一時生命を保たしめ、其の間に病勢がゆるんで吐き下しが止つてから、極く少しづつ葛湯の如きものを與へ、徐ろに普通の營養に移るやうにせなければなりません。若し火急に食物を與へますと、また病氣が再發して來ます。總てこれ等の病氣は薬よりも食物の養生が大事であります。薬ばかりを當にして、其の他の注意を怠るやうなことがありましては、決して病氣は快りませせん。

春雨や猫に踊を教へる子

(一茶)

柳からもいんぐわと出る童かな

(一茶)